

Akita Shinkin Bank
ディスクロージャー

DISCLOSURE

4~9月 2021

あきしんの現況
秋田信用金庫半期開示ディスクロージャー誌

おかげさまで
110周年

いままでも これからも
みなさまの笑顔のために



 秋田信用金庫



秋田信用金庫に対し、平素より格別のご愛顧を賜り、心よりお礼申し上げます。
当金庫の2021年9月期の主な経営内容をお知らせいたします。

2021年9月期の業績

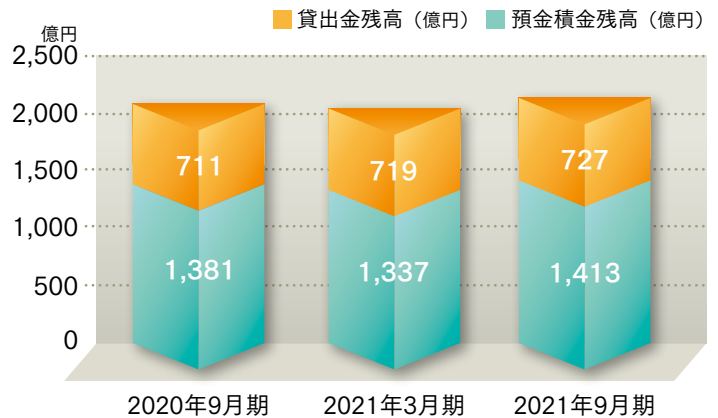
» 預金貸出金残高

預金につきましては、前年度から継続して取り組んでいるコロナ関連融資の歩留まりや110周年記念定期預金の取扱い及び預託金の受入れ等から、法人・個人とも増加し、前年同期比3,191百万円の増加となりました。

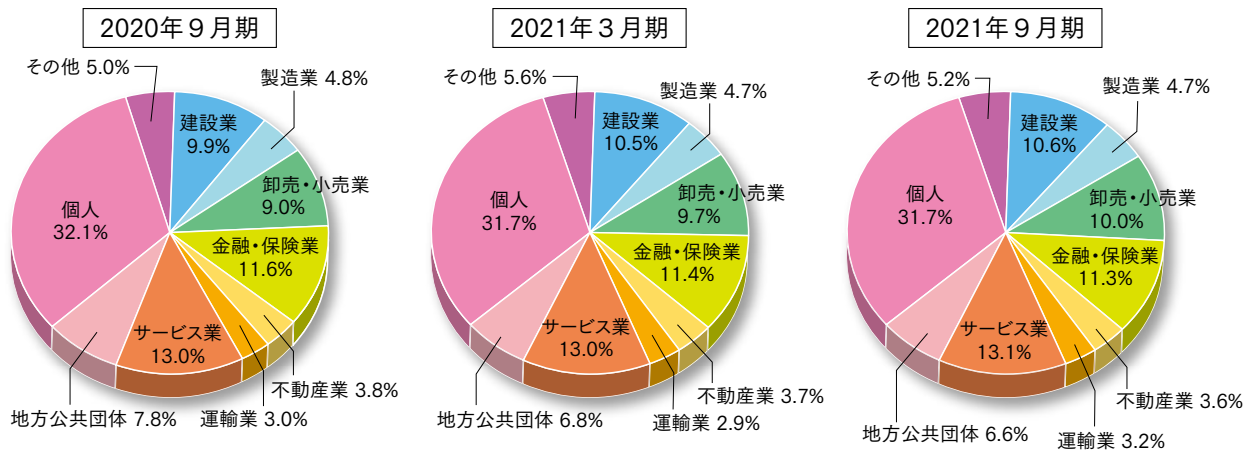
貸出金につきましては、コロナ関連融資の継続申込みや再生可能エネルギー向けなどの大口実行のほか、消費者ローン及び住宅ローンとも前年同期を上回り、前年同期比1,621百万円の増加となりました。

業況及び諸比率の推移

預貸金の推移



貸出金業種別構成比



» 損益状況

業務純益は、資金運用収益の減少や経費の増加に対し、預金積金利息及び役員取引等費用等の減少から、前年同期比10百万円増加の108百万円の計上となりました。

経常利益は、業務純益増加のほか、貸倒引当金等信用コストの減少等から前年同期比46百万円増加の146百万円の計上となり、当期純利益は同13百万円増加の97百万円の計上となりました。

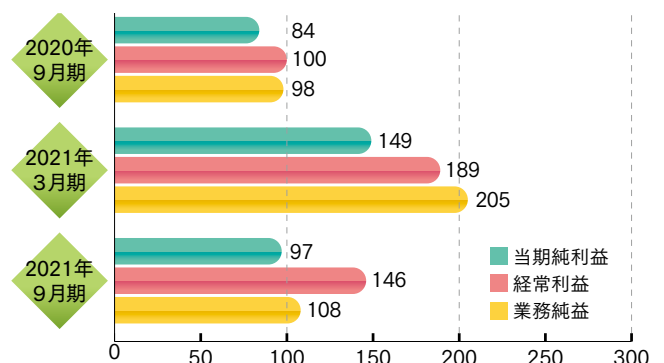
◆2021年9月期末実質業務純益 108百万円

実質業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたもので、前年同期比10百万円増加しました。

◆2021年9月期コア業務純益 109百万円（うち投資信託解約益0円）

コア業務純益は、実質業務純益から国債等債券損益の合計額を除いて算出された本来業務から得られる利益のことで、前年同期比1百万円増加しました。

損益状況の推移



» 有価証券の状況

当金庫ではお客様からお預かりした資金の一部を、信用力の高い債券を中心とした有価証券等で運用しております。

保有有価証券等の時価情報

1. 売買目的有価証券 該当する取引はありません。

2. 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

| | 種 類 | 2020年9月期 | | | 2021年3月期 | | | 2021年9月期 | | |
|--------------------|------|----------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|
| | | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 |
| 時価が貸借対照表計上額を超えるもの | 国内債券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | その他 | 200 | 205 | 5 | 200 | 203 | 3 | 200 | 202 | 2 |
| | 小 計 | 200 | 205 | 5 | 200 | 203 | 3 | 200 | 202 | 2 |
| 時価が貸借対照表計上額を超えないもの | 国内債券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | その他 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 小 計 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合 計 | 200 | 205 | 5 | 200 | 203 | 3 | 200 | 202 | 2 | |

3. その他有価証券

(単位：百万円)

| | 種 類 | 2020年9月期 | | | 2021年3月期 | | | 2021年9月期 | | |
|----------------------|--------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|----------|--------|-------|
| | | 貸借対照表計上額 | 取得原価 | 差 額 | 貸借対照表計上額 | 取得原価 | 差 額 | 貸借対照表計上額 | 取得原価 | 差 額 |
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | 株 式 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 国内債券 | 20,267 | 19,779 | 487 | 19,343 | 18,928 | 415 | 19,552 | 19,138 | 413 |
| | その他 | 9,227 | 8,650 | 576 | 11,504 | 10,825 | 679 | 12,575 | 11,785 | 790 |
| | 小 計 | 29,495 | 28,430 | 1,064 | 30,848 | 29,753 | 1,094 | 32,127 | 30,923 | 1,204 |
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | 株 式 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 国内債券 | 2,835 | 2,885 | △49 | 2,559 | 2,599 | △40 | 1,495 | 1,513 | △17 |
| | その他 | 9,379 | 9,939 | △560 | 8,307 | 8,686 | △379 | 8,964 | 9,282 | △317 |
| | 小 計 | 12,214 | 12,824 | △610 | 10,867 | 11,286 | △419 | 10,460 | 10,795 | △335 |
| 合 計 | 41,709 | 41,254 | 454 | 41,715 | 41,040 | 675 | 42,587 | 41,719 | 868 | |

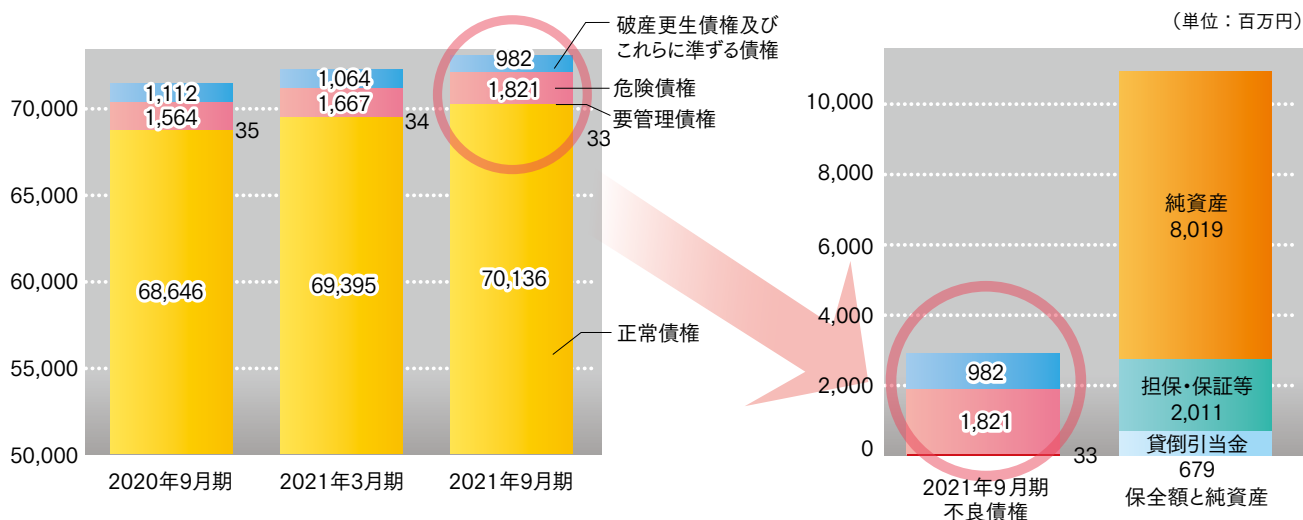
(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券のうち、主なものの内容と貸借対照表計上額は次の通りです。

・ その他有価証券

| | |
|---------------|-------|
| あきた創業サポートファンド | 51百万円 |
| 秋田まちづくりファンド | 25百万円 |
| 非上場株式 | 23百万円 |

» 金融再生法に基づく開示債権

2021年9月期の不良債権比率は、危険債権先に対する新型コロナ関連融資による資金繰り支援等で不良債権残高が増加したことから、前年同期比0.08ポイント上昇し、3.88%となりましたが、不良債権の94.85%が貸倒引当金や担保・保証等により保全され、さらに自己資本となる純資産8,019百万円を有し万全を期しております。



(注) ○「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」は、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権で、債務者区分が破綻先及び実質破綻先に該当する債権です。
 ○「危険債権」は、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本及び利息の受取ができない可能性の高い債権で、債務者区分が破綻懸念先に該当する債権です。
 ○「要管理債権」は、債務者区分が要注意先に該当する債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する債権です。
 ○「正常債権」は、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題のない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

自己資本の充実の状況等

★自己資本の構成に関する事項

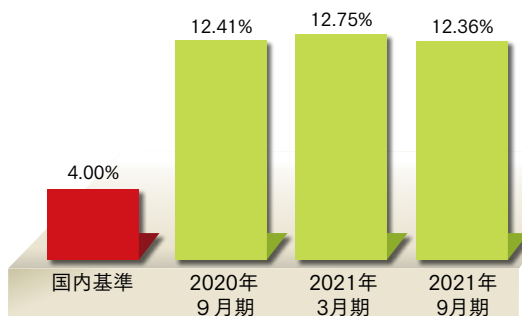
(単位：百万円)

| 項目 | 2020年9月期 | 2021年3月期 | 2021年9月期 |
|---|----------|----------|----------|
| コア資本に係る基礎項目(1) | | | |
| 普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額 | 7,284 | 7,298 | 7,391 |
| うち、出資金及び資本剰余金の額 | 1,207 | 1,204 | 1,200 |
| うち、利益剰余金の額 | 6,076 | 6,141 | 6,191 |
| うち、外部流出予定額(△) | - | 47 | - |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 183 | 193 | 170 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 183 | 193 | 170 |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | - | - | - |
| その他コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額(イ) | 7,467 | 7,491 | 7,561 |
| コア資本に係る調整項目(2) | | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 19 | 15 | 19 |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 19 | 15 | 19 |
| 繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額 | 10 | 4 | - |
| コア資本に係る調整項目の額(ロ) | 30 | 19 | 19 |
| 自己資本 | | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ) | 7,436 | 7,471 | 7,542 |
| リスク・アセット等(3) | | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 56,802 | 55,532 | 57,924 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | △1,173 | △870 | △870 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | △1,173 | △870 | △870 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額 | 3,084 | 3,070 | 3,070 |
| リスク・アセット等の額の合計額(ニ) | 59,886 | 58,603 | 60,995 |
| 自己資本比率 | | | |
| 自己資本比率((ハ)/(ニ)) | 12.41% | 12.75% | 12.36% |

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適切かどうかを判断するための基準」(2006年金融庁告示第21号)に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

信用金庫は、国内に特化する金融機関であることから、国内基準で4%以上を維持することが義務付けられております。2021年9月期の自己資本比率は、リスク・アセットの増加等から12.36%とやや低下しましたが、国内基準を大幅に上回る水準となっております。

自己資本比率の推移



★自己資本の充実度に関する事項

(単位：百万円)

| 項目 | 2020年9月期 | | 2021年3月期 | | 2021年9月期 | |
|---|----------|---------|----------|---------|----------|---------|
| | リスク・アセット | 所要自己資本額 | リスク・アセット | 所要自己資本額 | リスク・アセット | 所要自己資本額 |
| イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計 | 56,802 | 2,272 | 55,532 | 2,221 | 57,924 | 2,316 |
| ①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー | 55,965 | 2,238 | 53,842 | 2,153 | 55,800 | 2,232 |
| 現金 | - | - | - | - | - | - |
| 我が国の中央政府及び中央銀行向け | - | - | - | - | - | - |
| 外国の中央政府及び中央銀行向け | 52 | 2 | 52 | 2 | 72 | 2 |
| 国際決済銀行等向け | - | - | - | - | - | - |
| 我が国の地方公共団体向け | - | - | - | - | - | - |
| 外国の中央政府等以外の公共部門向け | - | - | - | - | - | - |
| 国際開発銀行向け | - | - | - | - | - | - |
| 地方公共団体金融機関向け | - | - | - | - | - | - |
| 我が国の政府関係機関向け | 393 | 15 | 391 | 15 | 369 | 14 |
| 地方三公社向け | 40 | 1 | 40 | 1 | 40 | 1 |
| 金融機関及び第一種金融商品取引業者向け | 8,481 | 339 | 7,563 | 302 | 8,255 | 330 |
| 法人等向け | 23,532 | 941 | 23,248 | 929 | 24,602 | 984 |
| 中小企業等向け及び個人向け | 12,262 | 490 | 12,250 | 490 | 12,542 | 501 |
| 抵当権付住宅ローン | 1,988 | 79 | 1,893 | 75 | 1,833 | 73 |
| 不動産取得等事業向け | 2,329 | 93 | 2,248 | 89 | 2,107 | 84 |
| 3ヵ月以上延滞等 | 45 | 1 | 43 | 1 | 35 | 1 |
| 取立未済手形 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 信用保証協会等による保証付 | 605 | 24 | 572 | 22 | 555 | 22 |
| 株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付 | - | - | - | - | - | - |
| 出資等 | 241 | 9 | 98 | 3 | 99 | 3 |
| 上記以外 | 5,990 | 239 | 5,437 | 217 | 5,284 | 211 |
| ②証券化エクスポージャー | - | - | - | - | - | - |
| ③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー(ルック・スルー方式) | 2,010 | 80 | 2,559 | 102 | 2,993 | 119 |
| ④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額 | - | - | - | - | - | - |
| ⑤他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額 | △1,173 | △46 | △870 | △34 | △870 | △34 |
| ⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額 | - | - | - | - | - | - |
| ⑦中央清算機関関連エクスポージャー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ロ. オペレーショナル・リスク | 3,084 | 123 | 3,070 | 122 | 3,070 | 122 |
| ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ) | 59,886 | 2,395 | 58,603 | 2,344 | 60,995 | 2,439 |

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスクアセット×4%
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。
 3. 「3ヵ月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」(「国際決済銀行等向け」を除く)においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
 4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスクを算出しています。

<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

上半期 トピックス

TOPICS

4月



▶秋田信用金庫 入庫式

今年は5人の新入職員が入庫しました。お取引先の皆様にもご指導いただきながら、一日も早く独り立ちし皆様のお役に立てるよう育成してまいります。



5月

▶創業110周年記念キャンペーンの実施

本年3月に創業110周年を迎えた記念事業の一環として、5月6日から8月31日までの4ヵ月間、個人向け定期預金及び個人ローンの記念キャンペーンを実施しました。



▶日本政策金融公庫との協調融資にかかる連携

新型コロナウイルス感染症により深刻な影響を受けた中小企業・小規模事業者の皆様に対する支援を強化するため、5月11日、日本政策金融公庫と連携し、双方の資本性ローン等を活用した協調融資スキームを創設しました。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない状況下、相互連携により、事業者の皆様への資金繰り支援を一層強化してまいります。

6月

▶(株)ライトアップとの業務提携

コロナ禍の社会変化に対応し、商品または販売方法の刷新をするための設備投資や新規事業を対象とした補助事業「事業再構築補助金」の申請サポート等の取引先支援を目的に、6月15日、公的制度の支援実績を多数有する(株)ライトアップ(東京都、ITを活用したコンサルティング企業)と業務委託契約を締結しました。



▶「第72回通常総代会」開催

6月18日、第72回通常総代会を開催し、2020年度決算について報告し、同剰余金処分案のほか、理事及び総代候補者選考委員の選任等について決議しました。

この度の通常総代会は、会場内の換気、マスク着用、手指アルコール消毒の実施、十分な間隔をとった配席等、新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで開催しました。

なお、総代会後の理事会決議により、平野敬悦理事長が会長に、菅原浩常務理事が新理事長に就任しました。



7月

▶「県産食材マッチング商談会2021」への参加

7月15日、秋田県の「県産食材マッチング商談会2021」が開催され、コロナ禍の影響からWEB方式となりましたが、当金庫取引先6社が出展しました。

8月

▶船越支店 脇本出張所(ATMコーナー)の移転

2019年9月の脇本支店廃止後、同所にて店舗外ATMコーナーとして営業していましたが、建物の老朽化やお客様の利便性の向上を考慮し、8月3日、同地区にあるマックスバリュ男鹿店内へ移転しました。

▶「第65回東北地区信用金庫野球大会」出場

8月21日・22日に開催された東北地区信用金庫大会(会場：由利本荘市)に当金庫野球部が出場しました。

残念ながら初戦敗退となりましたが、本大会は、コロナ禍の中、ガイドラインを策定し、無観客としたほか、参加者全員の前登録をするなど感染防止措置を講じて2年ぶりに開催されました。

▶「秋田信用金庫理事長杯第34回日本海ゲートボール親善大会」開催

8月23日、「秋田信用金庫理事長杯第34回日本海ゲートボール親善大会」が県内9チーム参加のもとOGAマリンパークで開催され、寺内参球Bチームが優勝しました。

横手支店の昼休業導入と八郎潟支店の昼休業時間の変更のお知らせ

経営効率化と防犯リスク回避を考慮し、10月4日より、横手支店で11時30分から1時間昼休業を導入することとしました。また、2019年4月より正午から1時間の昼休業を導入している八郎潟支店の休業時間を、お客様の昼休憩時間帯の来店希望に対応するため、横手支店と同様11時30分から1時間に変更しました。



SDGsへの取り組み

当金庫のSDGsへの取り組みを広く知っていただき、地域の皆さまとともに、持続可能な地域社会の実現に努めてまいります。

今年度の新たな取り組み

地域経済

秋田県が行う地域創生事業「若年女性の秋田暮らしサポート事業」に対する連携・協力

秋田県が行う標記事業に対して、事業の業務委託企画提案競技審査会に当金庫専務理事が審査員として参加したほか、若年者の県内定着・回帰等に関するアンケートへの調査協力や若年女性の意見交換会及び交流会へ女性職員を推薦するなどのサポートを行いました。

同事業は、信金中央金庫地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」の寄附対象事業（2月に100万円の寄付を実施）であり、地域の課題解決支援を目的に、今後も秋田県、信金中央金庫と連携・協力してまいります。

SDGs目標



地方創生SDGs官民連携プラットフォームへの入会

9月、多様なステークホルダーの積極的な参画及び官民連携を推進することにより、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた取り組み及びそれに資する「環境未来都市」構想のさらなる推進を通じて、より一層の地方創生の推進につなげることを目的として、内閣府が設置した地方創生SDGs官民連携プラットフォームへ入会しました。



地域社会

相続等に関する無料相談会の開催

専門家のご協力のもと、5月19日の土崎支店を第1回とし、以降8月まで合計10回、当金庫秋田市内の店舗を会場に、相続、遺言、不動産の名義変更、商業登記等に関する無料相談会を実施しました。（個別面談方式、事前予約制）下期においても11月より2月まで合計10回の開催を予定しております。

SDGs目標



地域環境

「海ごみゼロウィーク」への参加

日本財団「海と日本PROJECT」（海への関心を喚起し、海のごみ問題等解決に向けたアクションの輪を広げるプロジェクト）で実施する「海ごみゼロウィーク」の趣旨に賛同し、10月22日、職員25名で店舗周辺の清掃活動を実施しました。

具体的行動の一環として、簡単なことではありますが、できることから取り組んでまいります。

SDGs目標

